
猫君子

吟遊猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猫君子

【Nコード】

N4958BA

【作者名】

吟遊猫

【あらすじ】

僕は聖人君子じゃないから、嘘も吐く。

（ちなみに、題名は別

に作品の内容と関係ないかもです。笑

(前書き)

注) この作品はフィクションである。

・・・・・・・・すみません。使ってみたかったのと、改めて言う
ておこうと思ったので^^・・

僕は決して聖人君子ではないから、嘘だって吐く。

嫉妬や憎悪も悪意に殺意だって、人に向けた事が数回なんかじゃない。

人を怪我させた事も……一生消えない傷跡をつけた事もある。

きつと、これからだってあるだろう。

恨んで憎んで……裏切って、どうしても許されない事をすると思う。

僕は、君を貴方をお前を。

どうしようもないくらい愛しくなったり、憎くなったり……するかもしれない。

だから、罪を僕は犯すのだろう。

だから、罪を犯す前に消えてしまえば良いのかなって思いもする。

君を傷つける前に。

貴方に裏切る前に。

お前を嘘につく前に。

人に許されない事を行う前に。

あの人達から忘れられてしまいたい。

（後書き）

僕は嘘を吐くし、人を裏切る事もする。それに、人に許されない事もする。

嫉妬も憎悪も、悪意や殺意もあたりまえのように思っていた頃がある。

でも、愛しさを感じたり、恋煩いをしたりもした。

でもでも、嘘も裏切りもしてしまう。

泣いて笑って悲しんで、辛くて悔しくて嫌になっていく自分。

でも……それが、人ってことでどうですか？

僕が過去に、ある人に贈った作品を真似た物語。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4958ba/>

猫君子

2012年1月13日20時48分発行